

福井県ふるさと文学館コレクション展

新収蔵 津村節子展

津村節子という生き方

2023年

3月1日[水]—6月4日[日] 観覧無料

開館時間 || 火～金曜日：9時～19時 / 土・日・祝：9時～18時

休館日 || 月曜日、3月16日(木)、3月22日(水)、4月10日(月)～14日(金)、5月25日(木)

主催 || 福井県ふるさと文学館

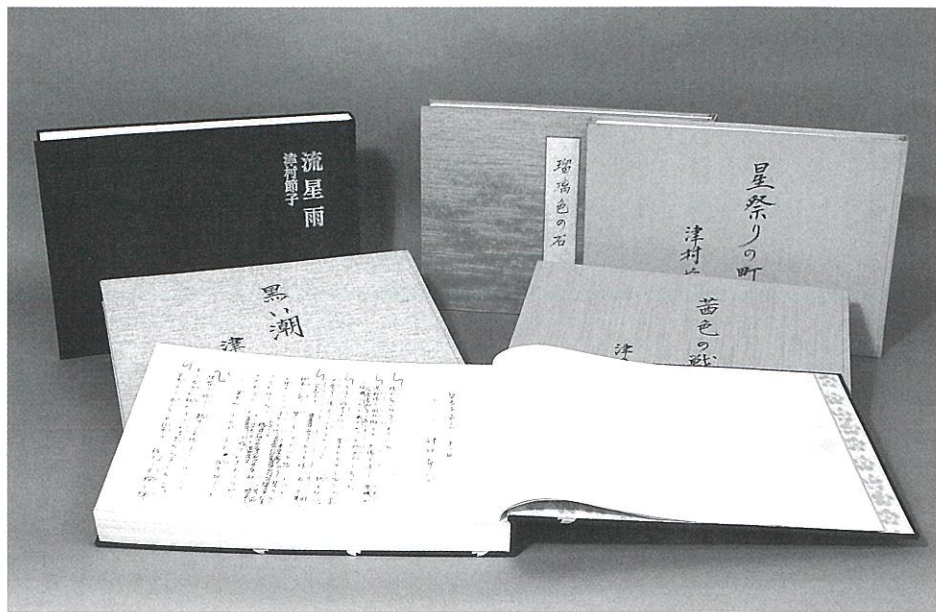


ホームページ





小学校4年生の頃。福井市の自宅にて。



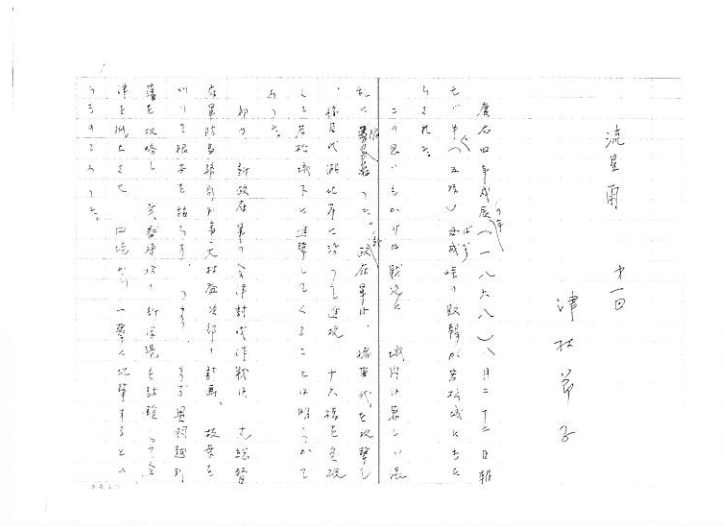
2023年1月、津村節子氏よりご寄贈の自筆原稿(製本)

福井県ふるさと文学館コレクション展

新収蔵

津村節子展

津村節子という生き方



原稿
「流星雨」

津村節子は、1928年、福井市に生まれ、小学生の頃から作家になることを夢見るようになりました。東京に移住し、学習院大学短期大学部を卒業した後に、作家・吉村昭と結婚。1965年には小説「玩具」で芥川賞を受賞し注目されました。受賞を機に福井を訪れた津村は、『花がたみ』『絹扇』などで故郷・福井の女性を描きました。その後も、夫の死と向き合った『紅梅』で2011年に菊池寛賞を受賞、2016年には文化功労者に顕彰されています。

このたび、当館は、代表作である『流星雨』（女流文学賞受賞作）や『智恵子飛ぶ』（芸術選奨文部大臣賞受賞作）、自伝的小説の『茜色の戦記』『星祭りの町』『瑠璃色の石』、歴史小説『黒い潮』の自筆原稿をご寄贈いただきました。これらの作品には、様々な時代に懸命に生きた女性たちの心奥が描かれています。

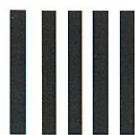
本展では、新収蔵資料を中心に、半世紀以上にわたり、書くことに向き合い続ける作家・津村節子の軌跡と作品世界に迫ります。

関連イベント

クイズラリー開催

展示室にあるクイズを解いて、オリジナルグッズをゲットしよう！

会期中、文学館カウンターで受付中！



福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE

ふるさと文学館

〒918-8113 福井県福井市下馬町51-11
(福井県立図書館内)
TEL 0776-33-8866 FAX 0776-33-8861
E-mail bungakukan@pref.fukui.lg.jp
HP <http://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/>



アクセス

フレンドリーバス(無料) ● JR福井駅東口バスターミナルから約15分
路線バス ● JR福井駅西口交通広場5番のりばから市内バス(62系統・一乗谷東郷行き)約12分
車・タクシー ● JR福井駅より約15分、北陸自動車道・福井ICより約20分



ホームページ



Twitter